



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

学校体育館に空調設置が実現

放課後クラブで活用を

8小中の体育館へ 安心の避難所に 猛暑に対応する 環境改善に活用を

福山市は災害時の基幹緊急避難場所に指定されている小中学校の体育館24所に、今後3年間で空調を整備していく方針を明らかにし、来年の6月までに8所で整備が進みます。

環境改善に活用を

市は整備の目的は災害対応だけでなく、様々な学校活動での活用も考えていると説明しており、すべての体育館への整備が必要です。

また、塩沢みつえ市議は予算委員会で、放課後児童クラブを利用して児童が、猛暑で外遊びができずに室内で過ごししている実態を指摘し、児童クラブでの活用の考えを質しました。

市は保護者の要望が無いことや支援員不足を理由として考えていないと答えましたが、クラブの環境整備は急務です。



体育館へエアコンの設置を求める要望署名を教育委員会へ提出。(2020年11月27日)

利用者の要望に添えて体育館の利用を認めるよう強く求めました。

水道施設の更新・耐震化計画

浄水場の維持・更新を

浄水場の耐震化率 44%にとどまる

東日本大震災や西日本豪雨災害では、広範囲・長期間の断水が発生しており、水道施設の災害対応が求められています。

福山市は22年から5年間で水道施設の耐震化・更新を進めています。浄水場の耐震化率は、現在までに約44%であることが明らかになりました。

福田浄水場は廃止

千田へ集約化

主要浄水場である千田浄水場と出原浄水場の耐震化は完了していますが、中津原浄水場は老朽化が問題となっており、複数の未耐震施設が存在しています。

そのため、市は中津原浄水場の規模縮小とともに福田浄水場を廃止し、その分を千

不登校・教員の病休が急増

先生を増やして対応を

不登校過去最多 学びの場の充実を

23年度の不登校児童・生徒は1560人で過去最多、福山市フリースクールが「福山市の利用者数も281人で最多です。様々な理由によって在籍校に通えないケースが増える中、多様な学びの場と一人ひとりに応じた丁寧なケアの必要性が高まっています。対応する職員を増員することが求められます。

また、山野・芋原浄水場については耐震化の計画もありません。

教員の精神疾患増 休める環境整備を

23年度中の教員の病休者63人のうち46人、23年度末時点での休職者13人のうち11人が精神疾患を理由にしていることが判りました。

市教委は休職者に対しては医師と連携して復職支援に取り組んでいます。復職できたケースは5人であり、



文部科学省資料：教育職員の精神疾患による病気休職者数の推移 (平成25年度～令和4年度)